キャラクター名
風村蒼葉（かぜむら　あおば）

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	安定した家庭	経験	親友	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0			6
感覚	0	0	0	1		1
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	33
行動値	2
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪		0	1	10(12)		
	白兵	9r		21		10+2+9/侵3+7+4
	白兵	9r		28		12+4+12/浸3+7+4/100↑

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
グリードフェザー		2		-1	攻撃の判定とドッジのダイス+3

合計装甲：	2	合計回避：	0

所持品	
コネ:噂好きの友人	
コネ:要人への貸し	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
想い人	P	N		
来光優牙	P　友情	N　不安		
蒼海るい	P　信頼	N　隔意		
桜井若歌	P　懐旧	N　悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：サラマンダー	2	2	メジャー			シンドローム		
効果：C値-Lv（下限値7）								
炎の刃	1	2	メジャー	武器	ー	対決		
効果：組み合わせた攻撃力+[Lv×2]								
ターゲットロック	3	3	セットアップ	視界	単体	自動		
効果：攻撃力+[Lv×3]								
鷹の翼	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：飛行状態　ドッジのダイス+Lv								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果：戦闘移動								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：素手データ変更								
グリードフェザー	1							
効果：攻撃の判定とドッジのダイス+3								
炎の理	★		メジャー	至近		自動		
効果：炎を作り出す								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「僕は、蒼葉。よろしく」
「……あ、ごめん。睨んでたつもりはないんだ。」
「怒ってないよ。空、見てただけ」
「屋上、一緒に行く？ 風が気持ちいいよ」

N市公立高校に通うオーヴァード（UGNイリーガル）。
平凡であたたかな家庭に育った。一人っ子で、家ぐるみで仲が良かった若歌とは幼い頃からよく遊んでいた。
目つきが悪く、怒っているように見られることもあるが、中身はほんわかとしている。
勉強は中の下くらいだが、運動が得意。中でも俊敏性が高く、短距離走ではいつもクラス１番。持久力はなく、長距離走はやや苦手。
中学校では陸上部に所属していた。高校に入ってからは陸上をやめた。
積極的に人と関わりには行かないが、絡まれるのは嫌いではない。来る者を拒まない性格。
何でも話せる親友がいる。名前は来光優牙（くるみ　ゆうが）。中学時代に出会った、爽やかで熱い男。同じ陸上部で知り合い、高校に上がって蒼葉がやめた後も陸上を続けている。青葉が若歌を亡くした時、それでも命を繋ぐことができたのは、若歌との思い出、家族、そして優牙という親友の存在があったからだった。
父と母、若歌、優牙のおかげで、蒼葉の基本的な他者への信頼度は高く、「人を信じられる人」である。

好きな場所は、屋上と校庭の木の下。母校の中学校の庭の片隅にあった木の下はとても静かで、中学時代のお気に入りであり、思い出の場所である。高校に入ってからも「落ち着く場所探し」に成功しており、お気に入りの場所を見つけている。……しかし、そこには大事が人がいない。

桜井若歌は、物心ついた時から一緒に生きてきた幼馴染。
両親同士が地元の仲間であり、幼少期は両親、若歌、若歌のお兄さんと一緒によく遊んだ。
小学校に上がる少し前、若歌の両親が亡くなってからは、家族ぐるみで遊ぶことは無くなったが、若歌との関係は続き、家に遊びに来る時には青葉の両親も若歌